



チェックシートエディタ
使用方法説明書

2013-05-21

2.3

任天堂株式会社発行

本ドキュメントの内容は、機密情報であるため、
厳重な取り扱い、管理を行ってください。

目次

1	はじめに.....	4
1.1	インストールおよびアンインストール.....	4
1.2	チェックシートエディタの起動設定.....	4
1.3	チェックシートエディタの構成.....	5
1.4	注意事項.....	5
1.4.1	チェックシートの内容について.....	5
1.4.2	チェックシートの修正について.....	5
1.4.3	ロットチェックに提出するファイルについて.....	5
2	チェックシートの作成.....	6
2.1	チェックシートエディタの起動.....	6
2.2	製品情報の記入.....	6
2.3	プログラム仕様チェックシートの記入.....	6
2.4	各種チェックシートの記入.....	7
2.5	チェックシートの出力.....	7
2.6	チェックシートの作成を終了/中断する場合.....	7
3	チェックシートの修正.....	8
3.1	記入項目の修正.....	8
3.2	製品情報の修正.....	8
4	その他.....	9
4.1	チェックシートパッケージが更新された場合.....	9
4.2	ローカライズ版への流用.....	9
5	メニューの機能一覧.....	10
5.1	ジャンプ.....	10
5.2	ファイル.....	10
5.2.1	新規.....	10
5.2.2	開く.....	10
5.2.3	読み込み.....	10
5.2.4	一時保存.....	10
5.2.5	終了.....	10
5.3	編集.....	10
5.4	提出.....	10
5.4.1	製品情報.....	10
5.4.2	出力.....	11
5.5	表示.....	11
5.5.1	オプション.....	11
5.5.2	タブ設定.....	11
5.6	ヘルプ.....	11

6	改訂履歴	12
---	------------	----

表

表 1-1	CheckSheetEditor.ini ファイルで設定できるパラメータ	4
表 2-1	項目の記入欄	6

図

図 1-1	ウィンドウサイズ変更用のバー（中央部分）とアイコン（左部分と右部分）	5
-------	--	---

1 はじめに

本説明書は、ロットチェックに提出するチェックシートを作成するツール「チェックシートエディタ」(以下、本エディタ)について、使用方法を記載しています。

以下では、本エディタで出力する HTML形式のファイルを「チェックシート」と定義します。

1.1 インストールおよびアンインストール

本エディタのインストールおよびアンインストールは不要です。

パッケージを解凍した状態ですぐに利用することができます。不要になった場合は、解凍したフォルダごと削除してください。レジストリは使用していません。

動作に必要な環境については、document フォルダにある「AboutCheckSheetEditor.txt」を参照してください。

1.2 チェックシートエディタの起動設定

本エディタと同じフォルダにある設定ファイル「CheckSheetEditor.ini」を編集することにより、起動後の動作を設定することができます。設定可能なパラメータは、以下の表を参照してください。なお、初期値を使用したい場合は、パラメータを記入しないか、パラメータの先頭に「;」を記入してコメントアウトしてください。

表 1-1 CheckSheetEditor.ini ファイルで設定できるパラメータ

セクション	パラメータ	初期値	説明
SETTING	Model	(空白)	使用するテンプレートのプラットフォームの略称。
	Language	JPN	エディタ本体の表示言語の設定。
	OutputDir	output	チェックシートの出力フォルダ名。エディタからの相対パスで表記。
	KeepPos	1	エディタの表示位置を終了時に記憶するかフラグ。「0」は記憶しない。「1」は記憶する。
	KeepSize	1	エディタのサイズを終了時に記憶するかフラグ。「0」は記憶しない。「1」は記憶する。
	WindowPosX	-1	エディタの表示位置の X座標。負の値にすると X座標が 0 になる。
	WindowPosY	-1	エディタの表示位置の Y座標。負の値にすると Y座標が 0 になる。
	WindowWidth	-1	エディタの横幅のサイズ。負の値にすると最小値になる。
	WindowHeight	-1	エディタの縦幅のサイズ。負の値にすると最小値になる。
「Model」パラメータ値 (複数表記可能)	LanguageFile	Language.xml	エディタ本体の表示内容を設定しているファイル名。エディタからの相対パスで表記。
	PluginDir	plugins	エディタ用のプラグインのあるフォルダ名。エディタからの相対パスで表記。
	ClassCodeInit	(空白)	製品情報の「分類コード」欄に表示する値。
	FormCodeInit	(空白)	製品情報の「形態コード」欄に表示する値。

1.3 チェックシートエディタの構成

本エディタのウィンドウのレイアウトは、基本的に上部と下部の 2 枠に区切られています。

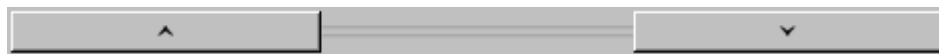
上部のウィンドウは、全場面に共通する内容や使用 ID の情報など、仕様を把握するために 1 つの記入内容だけで十部な項目で構成されています。

下部のウィンドウは、プレイする各場面で内容が異なるなど、仕様を把握するために複数の記入内容が必要な項目で構成されています。

上部と下部のウィンドウの境界にはウィンドウサイズを変更するためのバーとアイコンがあります。中央のバーをドラッグすると、移動に合わせてウィンドウサイズを変更できます。左右のアイコンをクリックすると、上部のウィンドウや下部のウィンドウだけを表示するようにサイズ変更できます。

なお、チェックシートによっては上部のウィンドウだけ表示されているものがあります。その場合は、サイズ変更用のバーとアイコンは表示されません。

図 1-1 ウィンドウサイズ変更用のバー(中央部分)とアイコン(左部分と右部分)



1.4 注意事項

1.4.1 チェックシートの内容について

チェックシートの内容を基にロットチェックの検査項目が決定しますので、作成したチェックシートを Web ブラウザで開き、記入内容に間違いがないか必ず確認してください。

記入内容に不備がある場合はエラーが表示されますので、必要な対応を行って不備を修正してください。

1.4.2 チェックシートの修正について

本エディタを使用して作成したチェックシートは、他のツールで絶対に修正しないでください。修正してしまうと、本エディタとの整合性がなくなってしまうため、もう一度最初から記入のやり直しが必要になります。

修正方法については、「3 チェックシートの修正」を参照してください。

1.4.3 ロットチェックに提出するファイルについて

本エディタで作成したすべてのチェックシートをロットチェックに提出してください。

すべてのチェックシートをまとめて zip 形式などで圧縮し、製品コードとバージョンが分かる名称をつけたファイルをロットチェックに提出しても問題ありません。

2 チェックシートの作成

2.1 チェックシートエディタの起動

CheckSheetEditor.exe をダブルクリックして、本エディタを起動してください。

2.2 製品情報の記入

本エディタを起動すると、製品情報を記入するダイアログが表示されます。「製品名」「製品コード」「リマスター/提出バージョン」を記入してください。なお、マスターエディタで作成した「Master Data Submission Sheet」をダイアログにドラッグ&ドロップすると、該当の内容を取り込むことができます。

「記入日」には、本エディタを起動した年月日が自動で入ります。必要に応じて変更してください。







すべての項目に記入が終わりましたら、「OK」を押してダイアログを閉じてください。

2.3 プログラム仕様チェックシートの記入

製品情報のダイアログを閉じると、プログラム仕様チェックシートの記入用項目が表示されますので、アプリケーションで実装しているすべての仕様に関し、各項目の説明文に沿って記入してください。

なお、項目の記入欄には幾つかの種類があります。以下の表を参照し、記入してください。

表 2-1 項目の記入欄

種類	形状	説明
チェックボックス		複数の選択肢を選択することが可能。
ラジオボタン		一つの選択肢のみ選択可能。 選択状態をキャンセルする場合は、該当のボタンを右クリックして「チェックを消去する」を選択する。
数値		10進数の数値のみ記入可能。改行は不可。
テキスト		文字列を記入可能。改行は不可。
マルチテキスト		文字列を記入可能。改行は可能。
リスト		文字列を記入可能。改行は不可。 上部にある入力用ボックスに文字列を記入した後、「Add」ボタンを押すことで下部にあるリストウィンドウに追加され、入力が完了する。 入力した文字列を削除する場合は、リストウィンドウで該当の文字列を選択し、「Del」ボタンを押す。 リストウィンドウで文字列を選択し、ドラッグして移動することで、表示順の変更が可能。 リストウィンドウで右クリックから「コピー」を選択すると、選択したアイテムのコピーが可能。別のリストウィンドウで右クリックから「ペースト」を選択することで、複製される。 Ctrlキーや Shiftキーで複数選択が可能。

2.4 各種チェックシートの記入

チェックシートの記入用項目に関して、「→」***チェックシート」と記載されている項目にチェックを入れた場合は、該当のチェックシートの記入用項目が新規タブに作成されます。表示されたタブを選択し、各項目の説明文に沿って記入してください。記入欄の内容については、「表 2-1 項目の記入欄」を参照してください。なお、「→」***チェックシート」と記載された項目のチェックを外すと、関連するチェックシートのタブも非表示になります。

本エディタの下部ウィンドウが表示されている場合は、必要に応じて左下にある「追加」アイコンをクリックして「Item」を増やし、すべての仕様を記入してください。

実装していない仕様に関する内容などの不要な項目を除き、表示されている項目はすべて記入してください。なお、チェックボックスやラジオボタンを選択すると、関連する項目が表示される場合があります。不足がないように必ず記入してください。

2.5 チェックシートの出力

すべてのチェックシートの項目について記入が終了した後に、本エディタの「提出」メニューから「出力」を選択し、出力先のフォルダを指定してチェックシートを出力してください。

各種チェックシートにおいて、記入の必要な項目が記入されていない場合や記入の不要な項目が記入されている場合は、エラーダイアログが表示されます。「はい」を選択するとエラーの一覧が表示されますので、すべてのエラーを修正してください。なお、一覧に表示されている項目を選択すると該当する項目にジャンプしますので、修正の参考にしてください。どうしてもエラーを取り除くことができない場合は、弊社担当窓口にご相談ください。

2.6 チェックシートの作成を終了/中断する場合

チェックシートの作成を終了したり、途中で中断したい場合は、本エディタの「ファイル」メニューから「一時保存」を選択するか、「Ctrl キー + S」を押して、一時保存ファイル(cstファイル)を作成することを推奨します。

一時保存ファイルを作成しておけば、記入していた項目の内容を復元することが可能です。詳細は「3.1 記入項目の修正」を参照してください。

3 チェックシートの修正

3.1 記入項目の修正

本エディタで作成したチェックシートや一時保存ファイルを CheckSheetEditor.exe またはそのショートカットにドラッグ&ドロップすると、記入された項目の内容を復元して本エディタを起動することができます。複数のチェックシートを一度にドラッグ&ドロップすることも可能です。起動時に前回保存した一時保存ファイルの内容を開くように、「オプション」で動作設定が可能です。

また、本エディタの「ファイル」メニューから「開く」や「読み込み」を選択して指定したり、起動した本エディタに直接ドラッグ&ドロップした場合でも、記入された項目の内容を復元することができます。ただし、該当項目の内容は読み込んだ内容にすべて上書きされてしまいます。

3.2 製品情報の修正

本エディタの「提出」メニューから「製品情報」を選択するとダイアログが表示されますので、該当部分を修正してください。

4 その他

4.1 チェックシートパッケージが更新された場合

最新のパッケージが NTSC-ONLINE に公開されていますので、常に最新のパッケージを使用してチェックシートを作成してください。

最新の CheckSheetEditor.exe またはそのショートカットに、既存のチェックシートや中断セーブデータをドラッグ&ドロップすると、記入済みの内容を最新の項目に引き継ぐことができます。ただし、新規に追加された項目については空欄のままですので、すべての項目が記入されていることを必ず確認してください。

4.2 ローカライズ版への流用

ローカライズ版のチェックシートを作成する際に、既存のチェックシートや一時保存ファイルを利用することができます。CheckSheetEditor.exe またはそのショートカットにドラッグ&ドロップして利用してください。ただし、製品コードや提出バージョンは変更されませんので、「3.2 製品情報の修正」を参照して修正してください。

ローカライズ版でアプリケーションの仕様を変更している場合は、正しい情報が記入されているか、すべてのチェックシートの内容を必ず確認してください。

5 メニューの機能一覧

5.1 ジャンプ

任意の記入用項目にジャンプします。

表示されたリスト項目をクリックすると、該当の項目までウィンドウがスクロールされます。

5.2 ファイル

5.2.1 新規

本エディタを初期状態で再起動します。新規にチェックシートを作成する際に使用します。

5.2.2 開く

一時保存ファイルの読み込みを行います。

製品情報も一時保存ファイルの内容に上書きされます。

5.2.3 読み込み

既存のチェックシートや一時保存ファイルの読み込みを行います。複数のファイルを選択することができます。

製品情報の内容は上書きされません。

5.2.4 一時保存

一時保存ファイルの作成を行います。

選択したフォルダに指定した名称の一時保存ファイルが作成されます。拡張子は「cst」です。

5.2.5 終了

本エディタを終了します。

項目の内容が変更されている場合は、一時保存ファイルを作成するかどうかの確認ダイアログが開きます。「はい」を選択すると「5.2.4 一時保存」の処理に移り、「いいえ」を選択すると変更内容を保存せずに本エディタを終了し、「キャンセル」を選択すると確認ダイアログを閉じて本エディタに処理が戻ります。

5.3 編集

任意の文字列の切り取り/コピー/貼り付けを行います。

一つ前の状態に戻すアンドゥや、任意の文字列の検索を行うこともできます。

5.4 提出

5.4.1 製品情報

該当アプリケーションの製品情報の入力を行います。

製品情報として、「製品名」「製品コード」「リマスター/提出バージョン」「記入日」が記入できます。

5.4.2 出力

記入した内容をもとにチェックシートの作成を行います。

選択したフォルダに、製品コードとバージョンを付加したファイル名でチェックシートが作成されます。拡張子は「html」です。

記入した内容に不備がある場合はエラーダイアログが表示されます。「はい」を選択するとエラーの一覧が表示され、「いいえ」を選択するとエラーのある状態でチェックシートを作成し、「キャンセル」を選択するとエラーダイアログを閉じて本エディタに処理が戻ります。

5.5 表示

5.5.1 オプション

使用言語と動作設定を設定します。

設定を変更した場合は、本エディタの次回起動時に設定が反映されます。

5.5.2 タブ設定

記入するチェックシートを選択します。

記入対象のチェックシートが左側のリストに、記入対象外のチェックシートが右側のリストに表示されており、中央にある矢印ボタンを押すことで、それぞれのリストを移動することができます。また、各リストの下にある矢印ボタンを押すことで、表示順を変更できます。なお、複数のテンプレートを一度に選択することはできません。

「OK」を押してダイアログを閉じると、記入対象のチェックシートの記入用項目が作成され、チェックシート名のタブが本エディタに追加されます。

ここで選択したチェックシートは「-->「***」チェックシート」と記載されている項目と連動しませんので、特定のチェックシートだけを作成する以外の目的で、本機能を使用しないでください。

5.6 ヘルプ

本エディタのバージョンや、著作権に関する情報が確認できます。

6 改訂履歴

版	改訂日	分類	改訂内容
2.3	2013-05-21	追加	<ul style="list-style-type: none"> 5.2.1 新規 5.2.2 開く
		変更	<ul style="list-style-type: none"> 全体 中断セーブデータの名称を「一時保存ファイル」に変更。 1.1 インストールおよびアンインストール 動作環境は別文書を参照する旨を追記。 1.4.1 チェックシートの内容について 記入内容に不備がある場合は、チェックシートにエラーが出力される旨を追記。 2.4 各種チェックシートの記入 本エディタの仕様変更に伴い、入力できない項目はグレースアウトではなく非表示になる内容に修正。 3.1 記入項目の修正 前回保存した一時保存ファイルの状態で起動できる旨を追記。 5.2.3 読み込み 製品情報の内容は上書きされないことを追記。 5.5.1 オプション 使用言語だけでなく動作設定も変更できる旨を追記。
2.2	2012-06-27	変更	<ul style="list-style-type: none"> 表 2-1 項目の記入欄 リストウィンドウ上のアイテムをコピー＆ペーストできることを追記。
2.1	2012-05-16	変更	<ul style="list-style-type: none"> 2.2 製品情報の記入 マスターエディタで作成した「Master Data Submission Sheet」の内容を取り込めることを追記。
2.0	2012-03-22	追加	<ul style="list-style-type: none"> 1.3 チェックシートエディタの構成 1.4.1 チェックシートの内容について 5.1 ジャンプ 5.4.1 製品情報 5.4.2 出力 5.5 表示
		変更	<ul style="list-style-type: none"> 1 はじめに チェックシートの定義を記述。 表 1-1 CheckSheetEditor.ini ファイルで設定できるパラメータ 「LanguageFile」のセクションを移動。 「SheetPath」を削除。 2.4 各種チェックシートの記入 グレースアウトされている項目は記入できないことを追記。 2.5 チェックシートの出力 記入内容に不備がある場合はエラーダイアログが表示されることを追記。
		削除	<ul style="list-style-type: none"> 3.2 中断セーブデータを利用して修正する場合 3.1 に集約。 5.3.1 シート選択 5.3.2 提出
1.2	2011-02-04	変更	<ul style="list-style-type: none"> 2.2 製品情報の記入 提出バージョンだけでなく、リマスターバージョンの記入も必要であることを追記。
1.1	2011-01-07	変更	<ul style="list-style-type: none"> 表 2-1 チェックシートの記入方法 ラジオボタンで選択した項目をキャンセルする方法を記述。

1.0	2010-12-21	-	・ 初版
-----	------------	---	------

記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

© 2010-2013 Nintendo

任天堂株式会社の許諾を得ることなく、本書に記載されている内容の一部あるいは全部を無断で複製・複写・転写・頒布・貸与することを禁じます。